

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	ウォーリア	Lv.1:		レベル	10
サポートクラス	ダンサー	Lv.1:	シーフ	性別	男
称号クラス				年齢	33
種族	ヒューリン			境遇	天涯孤独
出自(効果)	前科者			目標	探索

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	24	9	18	8	9	14	9
ボーナス	8	3	6	2	3	4	3
クラス修正	1	1	2	0	0	1	1
他修正							
能力値	9	4	8	2	3	5	4

HP	112
MP	71
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	怪力乱神剣	至近	-2	19	0	0	0	-3	0
左手									
頭部	ジルコニアヘルム				-1	8			
胴部	キュイラス				-1	12			-1
補助	ファインバックラー					4			-1
装身具	手入れ道具								
能力値			4	0	8	0	5	11	14
スキル	オートガード、フェイス:ゴヴァノン、コンマス		2			7	4		
その他				1					
総計(右)			4	20					
総計(左)					6	31	9	8	12
総計(両)									m
ダイス数			3 d	3 d	3 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	3			3	+ 2 d
トラップ解除	4			4	+ 2 d
危険感知	3			3	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定	5			5	+ 2 d
錬金術判定					+ d

所持品	
冒険者セット	ハイMPポーション×2
毒消し	
HPポーション×3	飛翔符
MPポーション×3	にく×2
バックパック	ウェホンケース
グミ	紫色の石ころ
6番の野草	
デッキブラシ	
船員室・浴場とプレートのついた鍵	
MPポーション×3	
ハイHPポーション×3	

現在重量: 24 所持金: 10 預金・借金:

最大重量: 53

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ハーフブラッド	★	-	パッシブ	-	-	-		
効果: ウィングを修得。幸運基本値-3								
アームズマスタリー「両手剣」	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: 両手剣の命中判定+1D								
パリア	1	4	マイナー	-	自身	自動成功		
効果: 回避判定+1D メジャー判定-1D								
プロボック	2	4	セットアップ	10m	単体	筋力		
効果: 【精神】と対決 達成値に+[SL×2] 勝利時「逆上」を与える								
バタフライダンス	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: 回避判定+1D								
ドッジムーブ	2	2	リアクション	-	自身	回避		
効果: 回避判定達成値に+[SL+2]								
フェイント	1	4	マイナー	-	自身	自動		
効果: 武器攻撃のリアクションを-1D								
ボルテクスアタック	1	-	武器攻撃時	-	自身	自動	単体*	
効果: ダメージ+[CL*10] 1シナリオ1回								
スラッシュブロウ	3	-	ダメージロールの直前	-	自身	自動		
効果: ダメージ+[(SL*2)D] 1シーン1回								
エアリアルレイブ	5	7	メジャー	至近	単体	命中		
効果: 飛行状態限定 命中+1D ダメージ+(SL*3)								
カバーリング	1	2	DRの直前	至近	単体	自動		
効果: 対象にカバー 一回のメインプロセスで一回								
ダンシングヒーロー	★	-	判定の直前	-	自身	自動	シーン1回	
効果: 判定の直前に使用。判定に+1D。シーン1回								
カバームーブ	1	4	カバー	-	自身	自動	シーンSL回	
効果: 20mまでカバーできる								
レーザーシャープ	1	-	パッシブ	-	自身	自動		
効果: 武器攻撃のダメージ+1D								
エンカレッジ	1	6	イニシアチブ	20m	単体	自動	シーン1回	
効果: 対象を一人選ぶ。あいては死ぬつもりになってメインプロセスを行う。その後行動済みになる。拒否もできる。								

ヒューリンシーフの父とドゥアンツリリの母との間に生まれる。
 幼い頃から住居を転々としており、友達といえるような人間はいなかったが、DQN両親の愉快的な武勇伝を聞いて健やかに育つ。両親の話のオチは大抵「生きていればなんとかなる」であった。
 10才を超えたある日、両親の友人を名乗る人物が両親を訪ねて来る。大人の話をするといい、部屋を追い出され、不貞寝して起きたら両親がいなくなっていた。荷物ごと。
 呆然とするストークを迎えに来たのは、とある旅芸人の座長であった。
 彼の言うままに一座の下働きとなったストークは淡々と二十数年間を過ごす。座長はストークを厚遇することも冷遇することもなく、只の下働きとして扱っていた。
 グランフェルデンでの公演を数日後に控えたその日、ストークは座長から一袋の包みを渡される。包みを開けると、中には数枚の金属片と父からの手紙が入っていた。
 手紙には金属片をケストレル・クラインと言う人物に渡して欲しい、と書かれていた。
 ストークはこの人物を探し、金属片を渡す為に冒険者となった。

